

だよりん



支援連携だより R8 第2号
令和8年 7月21日
小田原支援学校 支援連携部

今回は、「進路支援」と「自立活動教諭（専門職）の支援」についてご紹介します。

【進路より】

🌻 夏季休業中の福祉事業所見学について

進路を考えていくうえで、実際に事業所の雰囲気や働く様子を知ることは、本人にとっても保護者様にとっても大きなヒントになります。 実習の回数には限りがありますが、見学を通して「ここなら頑張れそう」「もっと知りたい」など、本人の気持ちを確かめながら進路の方向性を一緒に見つけていけることを願っています。 見学後や実習後には、ぜひご家庭でゆっくりとお話をしていただき、本人の思いを整理する時間をつくっていただけると、次の実習先を選ぶ際にもスムーズです。 気になる事業所があれば、できるだけ積極的に実習へ送り出したいと考えています。 最終的に、生徒自身が納得して選んだ進路につながることを大切にしています。

🌟 事業所を選ぶときのチェックポイント（主にB型事業所）

- ・作業内容 — 本人が取り組みやすい作業かどうか
- ・環境面 — 座り仕事か立ち仕事か、音や明るさなどの刺激
- ・通所方法 — 無理なく通える距離・手段か
- ・事業所の雰囲気 — スタッフや利用者の方の様子、年齢層など
- ・支援体制 — 本人に合ったサポートが受けられるか
- ・工賃 — どのくらいの収入が見込めるか
- ・就労実績 — 将来のステップにつながるかどうか



見学の際には、上記のポイントを意識していただくと、事業所ごとの違いや本人との相性がより見えやすくなります。

📝 ご家庭での話し合いに使える書式をご紹介します

以前、見学に参加された保護者様が、ご家庭で本人の気持ちを整理するために使われた書式があります。 「どこが良かった?」「気になったところは?」など、言葉にしづらい部分も書き出すことで、本人の思いが見えやすくなります。

進路選択は、本人にとってもご家庭にとっても大切な時間です。

この夏の見学が、「自分らしく輝ける未来」を描くきっかけになることを願っています。

事業所名	_____
働く時間	8:45~16:00
働く曜日	月~金
工賃(お金)	平均 ぐらい
働く内容	タオルたたみ、小分け、梱包、弁当製造、飲食 施設外就労、余暇活動
土曜日	_____
近所	近い
感想	集中して作業があって自分にむいている かんじだった。 だが、店の接客はがりがない。
ここ 働きたい?	1 2 3 4 5 ふい 候補! ぜんぜん

【自立活動教諭（理学療法士）より】

学校生活に適した「上履き」について

～成長期の足を支える、上履き選びのポイント～

なぜ上履き選びが大切なの？

子どもの足は、骨や筋肉が未成熟で、まだ発達途中にあります。足に合わない靴を履き続けると、足の成長や姿勢、歩き方に影響することもあります。

また、中学部や高等部では作業・実習の時間が増え、長い時間立ち仕事をする場合もあり、足の痛みや腰痛、疲労などにも影響する可能性があります。

1,000 時間！

1 年間、学校では約 1,000 時間を過ごします。この間ずっと身体を支え続ける上履きは、とても重要な「学習用具」のひとつともいえます。

※本校では「学校指定上履き」はありません。お子さんの足に合った形・サイズのものを選んでみてください。

サイズの合わせ方

- ① 靴の中敷きを取り出します
- ② 立った状態でその上に足をのせます
- ③ かかとを合わせ、つま先に 0.5～1cm の余白があれば適正サイズです

※つま先のスペースがあることで、足の指をしっかりと使うことができます

上履きの選び方チェックリスト

- ✓ かかと周りの芯がしっかりしている（指で押しても簡単につぶれない）
- ✓ 足指の付け根付近で靴底が曲がる（その他の部分では曲がらない）
- ✓ 適度な厚さとクッション性がある（底が固くペラペラの薄い靴は避ける）
- ✓ ひもやベルト（マジックテープ）で足の甲をしっかりと固定できる

よくあるお話：上記チェックポイントは足の安定性、機能発揮のしやすさ、身体への負担の少なさを優先した基準ですが、身辺動作自立のため「自分で簡単に脱ぎ履きできる」靴がよい、との声もよく聞かれます。「簡単に脱ぎ履きできる靴」と上記のチェックポイントは両立しないことが多いため、優先したい条件と身体の状態を見ながら選んでいく必要があります。

定期的に確認を

身体の発達には個人差があり、成長がゆっくりな場合もはやい場合もあります。靴のフィット感や痛み、疲労感などは、子ども自身が正確に伝えることが難しい場合もよくあるので、大人が定期的に確認をしてあげるとよいでしょう。サイズは少なくとも半年に 1 回はチェックしてみてください。

迷ったときは、ご相談ください！

上履き（外出用の靴でも）選びに迷ったとき、足や身体の状態が気になるときなど、ぜひ担任・理学療法士にご相談ください。